

入力例：酪農

○優先順位の考え方（どのような視点から協議会内の優先順位を決定したのか記入してください。）

		<div>STEP 1</div> <div>はじめに、基本情報を入力・選択して下さい</div> <div>※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい</div>								<div>STEP 2</div> <div>次に、当該機械装置を導入する必要性を選択し、成果目標に関する情報を選択・入力して下さい</div> <div>※成果目標の前提となる導入の必要性は『導入の必要性[1]の欄』で選択して下さい</div> <div>※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります</div> <div>※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい</div>																					
優先 順位 ※2	畜産経営 基盤継承 支援事業 との一体性 ※5	所属 (団体等名) <div>組合名等を 略さずに入 力すること</div>	中心的 経営体 確認 ※7	取組主体等名 ※8	貸付主体から借受を 行う場合の取組主体	氏名	取組主体 要件※9	クラスター 計画の テーマ番 号(成果 目標) ※16	飼養区分※10	機械装置導入の妥当性等の確認※12			成果目標		成果目標の算定根拠 ※18														成果目標値		
					導入の必要性 ※15					成果目標 の種類 (1～6) ※17	算定根拠 ※19	現状値								目標値								増加(削減)率 (%) ※20			
					[1]							[2]	[3]	①	単位	②	単位	③	単位	現状値 (①×②×③)	単位	①	単位	②	単位	③	単位		目標値 (①×②×③)	単位	
入力 時の注 意点	選択肢 から選 択	選択肢から 選択or入力	選択肢か ら選択				選択肢か ら選択	全角ローマ 数字(小 文字)で入 力	選択肢から選 択	選択肢から選択	選択肢から選 択	選択肢から選 択	選択肢か ら選択	半角で入力	自動で表 示されます	半角で入力	自動で表 示されます	半角で入力	自動で表 示されます	自動で入力されま す	自動で表 示されます	半角で入力	自動で表 示されます	半角で入力	自動で表 示されます	半角で入力	自動で表 示されます	自動で入力されま す	自動で表 示されます	自動で入力されま す	自動で表 示されます
1		●●県酪農 業協同組合	○	G田 酪七郎			新規	iv 飼養規 模の拡大・ 飼養管理の 改善	酪農	新規就農			1 販売額 の5%増	出荷数量 (乳量)	0	kg/年(1 頭あたり 年間産乳 量)		頭(搾乳 牛頭数)		円/kg(単 価)	0	円	8,000	kg/年(1 頭あたり 年間産乳 量)	20	頭(搾乳 牛頭数)	100	円/kg(単 価)	16,000,000	円	皆増
2		●●県酪農 業協同組合	○	県酪農協	H谷 酪八郎		新規	iv 飼養規 模の拡大・ 飼養管理の 改善	酪農	新規就農			1 販売額 の5%増	出荷数量 (乳量)	0	kg/年(1 頭あたり 年間産乳 量)		頭(搾乳 牛頭数)		円/kg(単 価)	0	円	8,000	kg/年(1 頭あたり 年間産乳 量)	20	頭(搾乳 牛頭数)	100	円/kg(単 価)	16,000,000	円	皆増
3		●●県酪農 業協同組合	○	I藤 酪九朗			認定	v 自給飼 料の拡大	酪農	自給飼料の生産・ 利用拡大	自給飼料の生 産・利用の省力 化		2 生産コス トの5%減	飼料費	450	t/年(購 入粗飼料 量)	40	円/kg(単 価)			18,000,000	円	250	t/年(購 入粗飼料 量)	40	円/kg(単 価)			10,000,000	円	-44.4%
4		●●県酪農 業協同組合	○	I藤 酪九朗			認定	v 自給飼 料の拡大	酪農	自給飼料の生産・ 利用拡大	自給飼料の生 産・利用の省力 化		2 生産コス トの5%減	飼料費	450	t/年(購 入粗飼料 量)	40	円/kg(単 価)			18,000,000	円	250	t/年(購 入粗飼料 量)	40	円/kg(単 価)			10,000,000	円	-44.4%

STEP 3

次に、要望する機械装置に関する情報を選択・入力して下さい

※複数の機械装置を一体的に要望する場合は、「一体的な要望の有無」欄で必ず指定して下さい

※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

STEP 4

最後に、その他の情報を選択・入力して下さい

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

補助対象機械装置			機械装置導入の妥当性等の確認※12		機械装置価格、補助金等					一体的な要望の有無	参考優先順位			成果目標の達成状況 ※21								施設整備との一体性※6		従業員数※22	経営規模の区分※23	株式会社又は持ち分会社のみ		取組主体の所在地(市町村名)	備考※24
機械装置の区分	機械装置名	数量	規模・数量の妥当性※13	既存の機械装置の有無確認※14	機械価格A	消費税B	計(A+B)	補助率	補助金額(A×1/2以内)			飼養頭羽数※11	うち搾乳牛、繁殖雌牛、母猪	(H28)年度導入	(H29)年度導入	(H30)年度導入	(R1)年度導入	(R2)年度導入	(R3)年度導入	活用事業	整備時期・内容	大規模法人への該当の有無【確認】	直近3力年の農業に係る売り上げが1/2以上占めるか【確認】						
選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	自動で入力されます	自動で入力されます		自動で入力されます	選択肢から選択		半角で入力	半角で入力	選択肢から選択								選択肢から選択		半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	入力ルールに沿って入力すること	
飼料収穫・調製用機械装置	ディスクモア	1	○	○	3,500,000	350,000	3,850,000	1/2	1,750,000	なし	1	8	6	—	—	—	—	—	—	—			2:中小規模経営			●●郡●●町			
飼料収穫・調製用機械装置	ディスクモア	1	○	○	3,500,000	350,000	3,850,000	1/2	1,750,000	なし	2	9	7	—	—	—	—	—	—	—			2:中小規模経営			●●市			
飼料収穫・調製用機械装置	ディスクモア	1	○	○	3,500,000	350,000	3,850,000	1/2	1,750,000	4位と一体	3	52	45	○	×	—	○	—	—	—			2:中小規模経営			●●市			
飼料収穫・調製用機械装置	カッティングロールペーラー	1	○		4,500,000	450,000	4,950,000	1/2	2,250,000	3位と一体	4	52	45	○	×	—	○	○	—	—			2:中小規模経営			●●市			

県名	●●県
畜産クラスター協議会名	●●地域肉用牛畜産クラスター協議会

入力例：肉用牛（繁殖）

○優先順位の考え方（どのような視点から協議会内の優先順位を決定したのか記入してください。）

優先順位※2		STEP 1 はじめに、 基本情報 を入力・選択して下さい ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい							STEP 2 次に、当該機械装置を 導入する必要性 を選択し、 成果目標 に関する 情報 を選択・入力して下さい ※ 成果目標の前提 となる 導入の必要性 は『 導入の必要性 [1]の欄』で選択して下さい ※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい																							
		畜産経営基盤継承支援事業との一体性※5		所属(団体等名) 組合名等を略さずに入力すること	中心的経営体確認※7	取組主体等名※8	貸付主体から借受を行う場合の取組主体 氏名	取組主体要件※9	クラスター計画のテーマ番号(成果目標)※16	飼養区分※10	機械装置導入の妥当性等の確認※12			成果目標		成果目標の算定根拠 ※18														成果目標値		
											導入の必要性※15			成果目標の種類(1～6)※17	算定根拠※19	現状値								目標値								増加(削減)率(%)※20
																①	単位	②	単位	③	単位	現状値(①×②×③)	単位	①	単位	②	単位	③	単位	目標値(①×②×③)	単位	
入力時の注意	選択肢から選択	選択肢から選択or入力	選択肢から選択				選択肢から選択	全角ローマ数字(小文字)で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	自動で入力されま	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	自動で入力されま	自動で表示されます	自動で入力されま		
1		農業協同組合	○	A野	肉太郎			認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	肉用牛(繁殖)	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	給餌作業の省力化		1 販売額の5%増	出荷数量(繁殖牛)	15	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			10,500,000	円	23	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			16,100,000	円	53.3%
2		農業協同組合	○	B元	肉次郎			認定	iii 労働負担の軽減	肉用牛(繁殖)	給餌作業の省力化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	1	人(従事者数)			3,600,000	円	-50.0%
3		農業協同組合	○	株式会社	C田農産			団体等	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	肉用牛(繁殖)	分娩間隔の短縮による出荷数量の増	事故率の低減による出荷数量の増	繁殖管理の省力化	1 販売額の5%増	出荷数量(繁殖牛)	15	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			10,500,000	円	17	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			11,900,000	円	13.3%
4		農業協同組合	○	株式会社	D本農場			団体等	iii 労働負担の軽減	肉用牛(繁殖)	繁殖管理の省力化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	1	人(従事者数)			3,600,000	円	-50.0%
5		農業協同組合	○	農業協同組合	E本	肉五郎		認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	肉用牛(繁殖)	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	自給飼料の生産・利用拡大		1 販売額の5%増	出荷数量(繁殖牛)	15	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			10,500,000	円	23	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			16,100,000	円	53.3%
6		農業協同組合	○	F村	肉六郎			認定	v : 自給飼料の拡大	肉用牛(繁殖)	自給飼料の生産・利用拡大			2 生産コストの5%減	飼料費	100	t/年(購入粗飼料量)	40	円/kg(単価)			4,000,000	円	50	t/年(購入粗飼料量)	40	円/kg(単価)			2,000,000	円	-50.0%
7		農業協同組合	○	G田	肉七郎			認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	肉用牛(繁殖)	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	ふん尿処理の省力化	放牧頭数・面積の拡大	1 販売額の5%増	出荷数量(繁殖牛)	15	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			10,500,000	円	30	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			21,000,000	円	100.0%
8		農業協同組合	○	農業協同組合	H谷	肉八郎		認定	v : 自給飼料の拡大	肉用牛(繁殖)	自給飼料の生産・利用拡大	放牧頭数・面積の拡大		2 生産コストの5%減	飼料費	100	t/年(購入粗飼料量)	40	円/kg(単価)			4,000,000	円	20	円/kg(単価)	40	円/kg(単価)			800,000	円	-80.0%
9		農業協同組合	○	農業協同組合	H谷	肉八郎		認定	v : 自給飼料の拡大	肉用牛(繁殖)	自給飼料の生産・利用拡大	放牧頭数・面積の拡大		2 生産コストの5%減	飼料費	100	t/年(購入粗飼料量)	40	円/kg(単価)			4,000,000	円	20	円/kg(単価)	40	円/kg(単価)			800,000	円	-80.0%

STEP 3

次に、要望する機械装置に関する情報を選択・入力して下さい

※複数の機械装置を一体的に要望する場合は、「一体的な要望の有無」欄で必ず指定して下さい

※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

STEP 4

最後に、その他の情報を選択・入力して下さい

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

補助対象機械装置			機械装置導入の妥当性等の確認※12		機械装置価格、補助金等					一体的な要望の有無	参考優先順位			成果目標の達成状況 ※21							施設整備との一体性※6		従業員数※22	経営規模の区分※23	株式会社又は持ち分会社のみ		取組主体の所在地(市町村名)	備考※24
機械装置の区分	機械装置名	数量	規模・数量の妥当性※13	既存の機械装置の有無確認※14	機械価格A	消費税B	計(A+B)	補助率	補助金額(A×1/2以内)			飼養頭羽数※11	うち搾乳牛、繁殖雌牛、母猪	(H28)年度導入	(H29)年度導入	(H30)年度導入	(R1)年度導入	(R2)年度導入	(R3)年度導入	活用事業	整備時期・内容	大規模法人への該当の有無【確認】			直近3力年の農業に係る売り上げが1/2以上占めるか【確認】			
選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	自動で入力されます	自動で入力されます		自動で入力されます	選択肢から選択		半角で入力	半角で入力	選択肢から選択							選択肢から選択		半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	入力ルールに沿って入力すること	
飼料給与関係機械装置	ロールベールカッター	1	○		2,500,000	250,000	2,750,000	1/2	1,250,000	なし	1	47	31	—	—	○	—	—	—	—				2:中小規模経営			●●市	
飼料給与関係機械装置	ロールベールカッター	1	○		1,800,000	180,000	1,980,000	1/2	900,000	なし	2	25	12	—	—	○	—	—	—	—				2:中小規模経営			●●郡●●町	
家畜飼養管理機械装置	分鏡監視装置	4	○		2,400,000	240,000	2,640,000	1/2	1,200,000	なし	3	46	30	—	—	—	—	—	—	3 自己資金	繁殖牛舎増築 R5.6竣工	1	2:中小規模経営	該当しない	農業売り上げが1/2以上を占める	●●市		
家畜飼養管理機械装置	分鏡監視装置	4	○		2,400,000	240,000	2,640,000	1/2	1,200,000	なし	4	42	26	—	○	○	—	—	—	3 自己資金	繁殖牛舎増築 R5.6竣工	1	2:中小規模経営	該当しない	農業売り上げが1/2以上を占める	●●市		
飼料収穫・調製用機械装置	ベールグラブ	1	○		860,000	86,000	946,000	1/2	430,000	なし	5	50	33	○	○	—	—	—	—	—				2:中小規模経営			●●郡●●村	
飼料収穫・調製用機械装置	ベールグラブ	1	○		950,000	95,000	1,045,000	1/2	475,000	なし	6	28	20	—	—	—	—	—	—	—				2:中小規模経営			●●市	
放牧関連機械装置	移動式スタンション	2	○		1,200,000	120,000	1,320,000	1/2	600,000	なし	7	47	32	—	—	—	—	—	—	—				2:中小規模経営			●●郡●●町	
放牧関連機械装置	移動式スタンション	2	○		1,200,000	120,000	1,320,000	1/2	600,000	9位と一体	8	26	18	—	—	○	—	—	—	—				2:中小規模経営			●●市	
放牧関連機械装置	簡易畜舎(組立式)	1	○		1,600,000	160,000	1,760,000	1/2	800,000	8位と一体	9	26	18	—	—	○	—	—	—	—				2:中小規模経営			●●市	

県名	●●県
畜産クラスター協議会名	●●県養豚振興協議会

入力例：養豚

○優先順位の考え方（どのような視点から協議会内の優先順位を決定したのか記入してください。）

<div>STEP 1</div> <div>はじめに、基本情報を入力・選択して下さい</div> <div>※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい</div>										<div>STEP 2</div> <div>次に、当該機械装置を導入する必要性を選択し、成果目標に関する情報を選択・入力して下さい</div> <div>※成果目標の前提となる導入の必要性は『導入の必要性[1]の欄』で選択して下さい</div> <div>※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります</div> <div>※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい</div>																				
優先順位※2	畜産経営基盤継承支援事業との一体性※5	所属(団体等名) 組合名等を略さずに入力すること	中心的経営体確認※7	取組主体等名※8	貸付主体から借受を行う場合の取組主体	取組主体要件※9	クラスター計画のテーマ番号(成果目標)※16	飼養区分※10	機械装置導入の妥当性等の確認※12			成果目標	成果目標の算定根拠 ※18														成果目標値			
					導入の必要性※15				成果目標の種類(1～6)※17	算定根拠※19	現状値								目標値								増加(削減)率(%)※20			
					[1]				[2]		[3]	①	単位	②	単位	③	単位	現状値(①×②×③)	単位	①	単位	②	単位	③	単位	目標値(①×②×③)		単位		
入力時の注意点	選択肢から選択	選択肢から選択or入力	選択肢から選択			選択肢から選択	全角ローマ数字(小文字)で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	自動で入力されま	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	自動で入力されま	自動で表示されます	自動で入力されま	自動で表示されます		
1		農業協同組合	○	A野 豚太郎		認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	養豚	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	給餌作業の省力化		1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,500	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			171,000,000	円	50.0%
2		荷受組合	○	B元 豚次郎		認定	iii 労働負担の軽減	養豚	給餌作業の省力化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	1	人(従事者数)			3,600,000	円	-50.0%
3		荷受組合	○	株式会社 C田農産		団体等	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	養豚	事故率の低減による出荷数量の増	衛生管理の高度化	母猪1頭当たり出荷頭数の増	1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			152,000,000	円	33.3%
4		農業協同組合	○	株式会社 D本農場		団体等	iii 労働負担の軽減	養豚	衛生管理の高度化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	1	人(従事者数)			3,600,000	円	-50.0%
5		農業協同組合	○	農業協同組合	E本	認定	v : 自給飼料の拡大	養豚	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	自給飼料の生産・利用拡大		1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,500	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			171,000,000	円	50.0%
6		-	○	F村 豚六郎		認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	養豚	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	エコフィードの利用拡大		1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,500	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			171,000,000	円	50.0%
7		-	○	G田 豚七郎		認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	養豚	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	ふん尿処理の省力化		1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,500	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			171,000,000	円	50.0%
8		農業協同組合	○	農業協同組合	H谷 豚八郎	認定	iii 労働負担の軽減	養豚	ふん尿処理の省力化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	0.5	人(従事者数)			1,800,000	円	-75.0%
9		農業協同組合	○	農業協同組合	H谷 豚八郎	認定	iii 労働負担の軽減	養豚	ふん尿処理の省力化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	0.5	人(従事者数)			1,800,000	円	-75.0%

STEP 3

次に、要望する機械装置に関する情報を選択・入力して下さい

※複数の機械装置を一体的に要望する場合は、「一体的な要望の有無」欄で必ず指定して下さい

※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

STEP 4

最後に、その他の情報を選択・入力して下さい

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

補助対象機械装置			機械装置導入の妥当性等の確認※12		機械装置価格、補助金等					一体的な要望の有無	参考優先順位			成果目標の達成状況 ※21								施設整備との一体性※6		従業員数※22	経営規模の区分※23	株式会社又は持ち分会社のみ		取組主体の所在地(市町村名)	備考※24
機械装置の区分	機械装置名	数量	規模・数量の妥当性※13	既存の機械装置の有無確認※14	機械価格A	消費税B	計(A+B)	補助率	補助金額(A×1/2以内)			飼養頭羽数※11	うち搾乳牛、繁殖雌牛、母猪	(H28)年度導入	(H29)年度導入	(H30)年度導入	(R1)年度導入	(R2)年度導入	(R3)年度導入	活用事業	整備時期・内容	大規模法人への該当の有無【確認】	直近3力年の農業に係る売り上げが1/2以上占めるか【確認】			※入力ルール ●●市 ●●郡●●町 ●●郡●●村			
選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	自動で入力されます	自動で入力されます		自動で入力されます	選択肢から選択		半角で入力	半角で入力	選択肢から選択								選択肢から選択		半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	入力ルールに沿って入力すること	
飼料給与関係機械装置	自動給餌機	2	○	○	13,450,000	1,345,000	14,795,000	1/2	6,725,000	なし	1	3,360	160	—	—	○	—	—	—	—			2:中小規模経営			●●市			
飼料給与関係機械装置	自動給餌機	2	○	○	14,500,000	1,450,000	15,950,000	1/2	7,250,000	なし	2	3,400	165	—	—	—	—	—	—	—			2:中小規模経営			●●郡●●町			
衛生管理高度化機械装置	清掃ロボット	1	○		3,200,000	320,000	3,520,000	1/2	1,600,000	なし	3	3,460	155	—	—	—	—	—	—	1	肥育豚舎増築 R5.8竣工	1	2:中小規模経営	該当しない	農業売り上げが1/2以上を占める	●●市			
衛生管理高度化機械装置	清掃ロボット	1	○		3,200,000	320,000	3,520,000	1/2	1,600,000	なし	4	3,650	150	—	○	—	—	—	—	1	肥育豚舎増築 R5.8竣工	1	2:中小規模経営	該当しない	農業売り上げが1/2以上を占める	●●市			
飼料用米調製用機械装置	飼料粉碎機	1	○		2,100,000	210,000	2,310,000	1/2	1,050,000	なし	5	3,500	150	○	○	—	—	—	—	—			2:中小規模経営			●●郡●●村			
エコフィード調製・給与関係機械装置	リキッドフィード給与装置	3	○		24,000,000	2,400,000	26,400,000	1/2	12,000,000	なし	6	3,300	154	—	—	—	—	—	—	—			2:中小規模経営			●●市			
堆肥調製散布関係機械装置	堆肥運搬車(特装しているものに限る)	1	○	○	6,500,000	650,000	7,150,000	1/2	3,250,000	なし	7	3,400	150	—	—	—	—	—	—	—			2:中小規模経営			●●郡●●町			
堆肥調製散布関係機械装置	堆肥運搬車(特装しているものに限る)	1	○		5,800,000	580,000	6,380,000	1/2	2,900,000	9位と一体	8	6,800	300	—	—	○	—	—	—	—			2:中小規模経営			●●市			
堆肥調製散布関係機械装置	ロータリー式攪拌装置	1	○		12,000,000	1,200,000	13,200,000	1/2	6,000,000	8位と一体	9	6,800	300	—	—	○	—	—	—	—	3 自己資金	たい肥盤新設 R5.8竣工		2:中小規模経営			●●市		